別添例示（第３条第１項関係）

浄化槽保守点検・清掃委託等契約書

　浄化槽管理者（以下「甲」という。）、浄化槽保守点検業者（以下「乙」という。）及び浄化槽清掃業者（以下「丙」という。）は、甲が管理する浄化槽の保守点検・清掃及び浄化槽法に規定する検査（以下「法定検査」という。）について次の条項により契約を締結し、乙及び丙はこれを誠実に履行するものとする。

（契約の対象施設）

第１条　この契約により、乙が保守点検を、丙が清掃を行う浄化槽は次のとおりとする。

一　浄化槽の設置場所　　印西市　　　　　　　　　　　　　（名称　　　　　　　　邸　）

　二　浄化槽の型式 合併　　　　　　　　　　　　方式・メーカー

　三　浄化槽の規模 　　　　人槽　　容量　　　　　　m3

　四　処理目標水質 放流水ＢＯＤ　 mg/l 以下・ＢＯＤ除去率　 ％以上

（業務内容及び実施）

第２条　乙は、浄化槽法（以下「法」という。）第２条第３号に規定する浄化槽の保守点検について、環境省関係浄化槽法施行規則（以下「規則」という。）第２条に規定する技術上の基準に従い適正に実施するとともに、次の作業及び事務の代行を行うものとする。

　一　甲に対し、浄化槽の適正な使用方法について助言する。

　二　法第１０条の２第１項に規定する浄化槽の使用開始報告書を所管行政機関に提出する。

　三　法定検査の受検手続を行う。

　四　丙に対し、法第２条第４号に規定する浄化槽の清掃について、必要な指示を行う。

２　乙が保守点検を実施したときは、別に示す「浄化槽保守点検記録票」を２部作成し、１部を甲に交付するものとする。また、当該「浄化槽保守点検記録票」は、規則第５条８項及び９項の規定により、甲乙各自３年間保存するものとする。

３　丙は、法第２条第４号に規定する浄化槽の清掃について、規則第３条に規定する技術上の基準に従い適正に実施するとともに、清掃を実施したときは、別に示す「浄化槽清掃記録票」を２部作成し、１部を甲に交付するものとする。また、当該「浄化槽清掃記録票」は、規則第５条８項及び９項の規定により、甲丙各自３年間保存するものとする。

　（委託料）

第３条　保守点検の委託料は、　　　　　円とし、その内訳明細は、委託料金内訳明細書のとおりとする。

２　前項に掲げるもののほか、主要部品の取替修繕又は天災その他による補修等の必要が生じたときの費用は、甲、乙及び丙が協議のうえ別途定める。

３　保守点検委託料の支払いは、契約締結時を原則とする。ただし、甲の申出により別に期日を定める場合は、この限りでない。

４　清掃委託料は作業終了の後、請求に基づき、甲が丙に支払うものとする。

５　天災又は甲の責に帰すべき事由によって生じた作業経費は、甲が乙又は丙に支払うものとする。

（情報提供に対する同意）

第４条　甲は、法定検査の実施機関が、法定検査の結果を、浄化槽の適正な設置及び維持管理を図るために利用することを目的として、乙並びに県及び市町村の関係行政機関に提供することを承諾するものとする。

（損害賠償）

第５条　乙又は丙が行う作業上の行為により甲に損害を与えた場合は、乙又は丙は、甲に対しその損害を賠償しなければならない。ただし、甲の責に帰すべき事由又は不可抗力による場合は、この限りでない。

（契約の解除）

第６条　甲は、乙又は丙が正当な理由が無くこの契約を履行しないとき又は次の各号のいずれかに該当するときは、本契約を解除することができる。

　一　乙が浄化槽法及び同法に関連する法令に違反し、浄化槽保守点検業の登録を取り消されたとき。

　二　丙が市町村の浄化槽清掃業の許可を取り消されたとき。

２　契約を解除したときは、乙は、既に支払いを受けた料金の全部又は一部を返還するものとする。

（契約の期間）

第７条　この契約の期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までとする。ただし、この契約期間満了の１ケ月前までに甲、乙及び丙から申出のないときは、さらに１年間継続するものとする。以後もこの例によるものとする。

（協議事項）

第８条　契約書の内容に疑義が生じたとき又は契約書に定めのない事項に関し疑義が生じたときは、甲、乙及び丙は誠意をもって協議のうえ定めるものとする。

　契約の締結を証するため、この契約書２通を作成し、甲、乙及び丙が記名押印のうえ、甲及び乙が各１通を保有し、丙は複製を保有する。

　令和 年 月 日

　甲（浄化槽管理者）　住　所

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　電　　話

　乙（浄化槽保守点検業者）　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては事業所名及び代表者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　電　　話

　　　　　　　　　　　　　　登録番号　　　　第　　　号

　丙（浄化槽清掃業者）　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては事業所名及び代表者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　電　　話

　　市許可番号　第　　　号

保守点検委託料金内訳明細書

　委託料金の内訳は、下記のとおりとする。

　　甲から乙に支払う金額

|  |
| --- |
| （１）保守点検費　　　　　　人槽　　　　円　×　　回　＝　　　　　円（税抜き金額） |

　　甲から丙へ支払う金額

|  |
| --- |
| （２）清掃作業費　（①又は②の金額）  　　　　　　　　　　　①　　人槽　　　　　　円　×　回　＝　　　　　円（税抜き金額）  　　　　　　　　　　　②　　m3単価　　　　　　　　円（税抜き金額） |

甲から公益社団法人千葉県浄化槽検査センターへ支払う金額

|  |
| --- |
| （３）浄化槽の法定検査（法第11条）手数料  円　×　　回　＝　　　　　 円（非課税） |

※　保守点検は、法第１０条及び規則第６条に基づき、4か月ごとに1回とし、浄化槽管理士を派遣して行う。（ただし、みなし浄化槽〔単独処理浄化槽〕については３ヶ月ごとに１回以上とする）

※　清掃は、法第１０条に基づき年に１回、行うものとする。ただし、全ばっ気方式にあってはおおむね６ヶ月に１回以上とする。

※　法定検査に係る検査結果書及び検査手数料請求書は、公益社団法人千葉県浄化槽検査センターから浄化槽管理者に送付するものとする。

※　保守点検費及び清掃作業費には別途消費税がかかります。

別添例示（第３条第１項関係）

浄化槽保守点検・清掃委託等契約書（記入例）

　浄化槽管理者（以下「甲」という。）、浄化槽保守点検業者（以下「乙」という。）及び浄化槽清掃業者（以下「丙」という。）は、甲が管理する浄化槽の保守点検・清掃及び浄化槽法に規定する検査（以下「法定検査」という。）について次の条項により契約を締結し、乙及び丙はこれを誠実に履行するものとする。

（契約の対象施設）

第１条　この契約により、乙が保守点検を、丙が清掃を行う浄化槽は次のとおりとする。

一　浄化槽の設置場所　　印西市大森４６３２－２　　　　　　　（名称　　印西太郎　邸　）

　二　浄化槽の型式 合併　　生物濾過方式　　　　　　　　方式・メーカー　〇〇〇〇

　三　浄化槽の規模 　　　５人　槽　　容量　　2.944　　　　m3

　四　処理目標水質 放流水ＢＯＤ　 10　mg/l 以下・ＢＯＤ除去率　 95 ％以上

（業務内容及び実施）

第２条　乙は、浄化槽法（以下「法」という。）第２条第３号に規定する浄化槽の保守点検について、環境省関係浄化槽法施行規則（以下「規則」という。）第２条に規定する技術上の基準に従い適正に実施するとともに、次の作業及び事務の代行を行うものとする。

　一　甲に対し、浄化槽の適正な使用方法について助言する。

　二　法第１０条の２第１項に規定する浄化槽の使用開始報告書を所管行政機関に提出する。

　三　法定検査の受検手続を行う。

　四　丙に対し、法第２条第４号に規定する浄化槽の清掃について、必要な指示を行う。

２　乙が保守点検を実施したときは、別に示す「浄化槽保守点検記録票」を２部作成し、１部を甲に交付するものとする。また、当該「浄化槽保守点検記録票」は、規則第５条８項及び９項の規定により、甲乙各自３年間保存するものとする。

３　丙は、法第２条第４号に規定する浄化槽の清掃について、規則第３条に規定する技術上の基準に従い適正に実施するとともに、清掃を実施したときは、別に示す「浄化槽清掃記録票」を２部作成し、１部を甲に交付するものとする。また、当該「浄化槽清掃記録票」は、規則第５条８項及び９項の規定により、甲丙各自３年間保存するものとする。

　（委託料）

第３条　保守点検の委託料は、　12,000　円とし、その内訳明細は、委託料金内訳明細書のとおりとする。

２　前項に掲げるもののほか、主要部品の取替修繕又は天災その他による補修等の必要が生じたときの費用は、甲、乙及び丙が協議のうえ別途定める。

３　保守点検委託料の支払いは、契約締結時を原則とする。ただし、甲の申出により別に期日を定める場合は、この限りでない。

４　清掃委託料は作業終了の後、請求に基づき、甲が丙に支払うものとする。

５　天災又は甲の責に帰すべき事由によって生じた作業経費は、甲が乙又は丙に支払うものとする。

（情報提供に対する同意）

第４条　甲は、法定検査の実施機関が、法定検査の結果を、浄化槽の適正な設置及び維持管理を図るために利用することを目的として、乙並びに県及び市町村の関係行政機関に提供することを承諾するものとする。

（損害賠償）

第５条　乙又は丙が行う作業上の行為により甲に損害を与えた場合は、乙又は丙は、甲に対しその損害を賠償しなければならない。ただし、甲の責に帰すべき事由又は不可抗力による場合は、この限りでない。

（契約の解除）

第６条　甲は、乙又は丙が正当な理由が無くこの契約を履行しないとき又は次の各号のいずれかに該当するときは、本契約を解除することができる。

　一　乙が浄化槽法及び同法に関連する法令に違反し、浄化槽保守点検業の登録を取り消されたとき。

　二　丙が市町村の浄化槽清掃業の許可を取り消されたとき。

２　契約を解除したときは、乙は、既に支払いを受けた料金の全部又は一部を返還するものとする。

（契約の期間）

第７条　この契約の期間は、令和４年８月１日から令和５年７月３１日までとする。ただし、この契約期間満了の１ケ月前までに甲、乙及び丙から申出のないときは、さらに１年間継続するものとする。以後もこの例によるものとする。

（協議事項）

第８条　契約書の内容に疑義が生じたとき又は契約書に定めのない事項に関し疑義が生じたときは、甲、乙及び丙は誠意をもって協議のうえ定めるものとする。

　契約の締結を証するため、この契約書２通を作成し、甲、乙及び丙が記名押印のうえ、甲及び乙が各１通を保有し、丙は複製を保有する。

　令和　４年　８月　１日

　甲（浄化槽管理者）　住　所　　印西市大森4632-2

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　印西　太郎　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　電　　話　0476-42-5111

　乙（浄化槽保守点検業者）　住　　所　印西市●●●

**株式会社**

**●●●●**

**代表の印**

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　●●●株式会社　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては事業所名及び代表者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　電　　話　●●●●-●●-●●●

　　　　　　　　　　　　　　登録番号　千葉県知事第●●号

　丙（浄化槽清掃業者）　住　　所　印西市▲▲▲

**株式会社**

**●●●●**

**代表の印**

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　▲▲▲株式会社　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　（法人にあっては事業所名及び代表者氏名）

　　　　　　　　　　　　　　電　　話　▲▲▲▲-▲▲-▲▲▲▲

　　市許可番号　印西市第▲▲号

保守点検委託料金内訳明細書

　委託料金の内訳は、下記のとおりとする。

　　甲から乙に支払う金額

|  |
| --- |
| （１）保守点検費　　　　　５　人槽　3,000　円　×　４回　＝　　12,000円（税抜き金額） |

　　甲から丙へ支払う金額

|  |
| --- |
| （２）清掃作業費　（①又は②の金額）   1. 人槽　　　　　　円　×　回　＝　　　　　円（税抜き金額）   　　　　　　　　　　　②　　m3単価　　10,000　円（税抜き金額） |

甲から公益社団法人千葉県浄化槽検査センターへ支払う金額

|  |
| --- |
| （３）浄化槽の法定検査（法第11条）手数料  5,000円　×　１回　＝　　　5,000円（非課税） |

※　保守点検は、法第１０条及び規則第６条に基づき、4か月ごとに1回とし、浄化槽管理士を派遣して行う。（ただし、みなし浄化槽〔単独処理浄化槽〕については３ヶ月ごとに１回以上とする）

※　清掃は、法第１０条に基づき年に１回、行うものとする。ただし、全ばっ気方式にあってはおおむね６ヶ月に１回以上とする。

※　法定検査に係る検査結果書及び検査手数料請求書は、公益社団法人千葉県浄化槽検査センターから浄化槽管理者に送付するものとする。

※　保守点検費及び清掃作業費には別途消費税がかかります。